

## 第69回えいが部「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」(2019年)

1944年(昭和19年)2月、18歳のすずは広島から軍港のある呉の北條家に嫁ぐ。戦時下、物資が徐々に不足する不自由さの中、すずは持ち前の性格で明るく日常を乗り切っていたが、翌年の空襲によって大切なものを失う。広島への原子爆弾投下、終戦。それでもすずは自分の居場所を呉と決め、生きていく。

監督：片渕須直

- ・魔女の宅急便(1989年) - 演出補
- ・うしろの正面だあれ(1991年) - 画面構成
- ・大砲の街(オムニバス映画『MEMORIES』の一編)(1995年) - 演出・技術設計
- ・この星の上に(1998年) - 監督
- ・アリーテ姫(2000年) - 監督・脚本
- ・マイマイ新子と千年の魔法(2009年) - 監督・脚本

原作：こうの史代

- ・『ぴっぴら帳(ノート)』1、完結編(2000-2004年、双葉社)のち文庫
- ・『夕風の街 桜の国』(2004年、双葉社)のち文庫
- ・『こっこさん』(2005年、宙出版)
- ・『長い道』(2005年、双葉社)のち文庫
- ・『長い道【新装版】』(2022年6月20日、ゼノンコミックスDX)
- ・『さんさん録』(2006年、双葉社)のち文庫
- ・『街角花だより』(2007年、双葉社)のち文庫
- ・『この世界の片隅に』全3巻(2008-2009年、双葉社)2011年に新装版全2巻
- ・『平凡倶楽部』(2010年、平凡社)
- ・『ぼおるぺん古事記 天の巻・地の巻・海の巻』(2012-2013年、平凡社)
- ・『あのとき、この本』(2014年、平凡社)
- ・『日の鳥』全2巻(2014-2016年、日本文芸社)
- ・『荒神絵巻』(2014年、朝日新聞出版)

宮部みゆきと共著。『荒神』連載中に描かれたオールカラーの挿し絵を収録。

- ・『ギガタウン漫符図譜』(2018年、朝日新聞出版)

104種類の漫符の意味を、短文と四コマ漫画による用例で解説。用例に鳥獣人物戯画に描かれているキャラクターを多用した。[9]。ふきだしおよび効果線も数点ずつ紹介。

- ・『マンガノミカタ』(樹村房, 2021年10月) 竹宮恵子・吉村和真との共著
- ・『百一 hyakuichi』(日本文芸社、2022年1月)

北條 すず：声 - のん

- ・告白（2010年、東宝） - 桐谷修花 役]
- ・動物の狩り方（2011年、若手映画作家育成プロジェクト） - 主演・美由紀 役
- ・ホットロード（2014年、松竹） - 主演・宮市和希 役
- ・海月姫（2014年、アスミック・エース） - 主演・倉下月海 役
- ・私をくいとめて（2020年、日活） - 主演・黒川みつ子 役
- ・Ribbon（2022年、イオンエンターテイメント） - 主演・浅川いつか 役
- ・さかなのこ（2022年9月1日、東京テアトル） - 主演・ミー坊（さかなクン） 役

北條 周作：声 - 細谷佳正

- ・劇場版 テニスの王子様 英国式庭球城決戦!（白石蔵ノ介[194]） 2012年
- ・宇宙戦艦ヤマト 2199 星巡る方舟（加藤三郎[196]） 2014
- ・劇場版 黒子のバスケ LAST GAME（日向順平[208]） 2017
- ・ぼくらのよあけ（沢渡遼[221]） 2022
- ・RABBITS KINGDOM THE MOVIE（卯月新[222]） 2023

水原 哲：声 - 小野大輔

- ・ぼくの孫悟空（次郎真君） 2003
- ・劇場版 NARUTO -ナルト- 疾風伝（首領） 2007
- ・涼宮ハルヒの消失（古泉一樹） 2010
- ・手塚治虫のブッダ -赤い砂漠よ!美しく-（チャンナ） 2011
- ・おそ松さん～魂のたこ焼きパーティーと伝説のお泊り会～（松野十四松） 2023

映画のヒットを受け、2019年12月20日に約40分の新規場面を追加した長尺版の『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』が公開された[69][70][71]。さらにこれと関連して、ドキュメンタリー映画『〈片隅〉たちと生きる 監督・片渕須直の仕事』が同年12月13日に公開された。